へ13
3017
9

厚化粧

九編上

春水化

豐國画

九編下

へ13
3017
9

子供教訓志満ぶし 下巻

東海散人 柳北 著
柳亭種彦 画

蔵書

舌講師燕林子ゲ秋田路てふ物の本あり毒婦阿百を見出して开ゲ外傳を選擇す和尚奥の怪談綺語さへ加えて一箇の讀物とせーを書房ゲ早晩小耳ふ挟そ冊子ふ編て得させよとこひふ素より作者の扎ふ掃溜何でもござれと受込で稍編數ふ嵩めども彼方ふ頗達辨して聽客をして眠を覺させ予ふ亦例の鈍筆也ん看客をして欠びを出さむ眠を覺さと欠びを出さと是非の論ふ已ん〜

壬申 孟春吉旦

柳北の春水戯述

戀ゞ淫
文字屋の
阿曽比
敷嶋
悲
手
尓
波

二

百

書籍
主
茂
早

春水作
豊國画
三

汗鈔花

這面の文平が物
譚の合せ見るべし

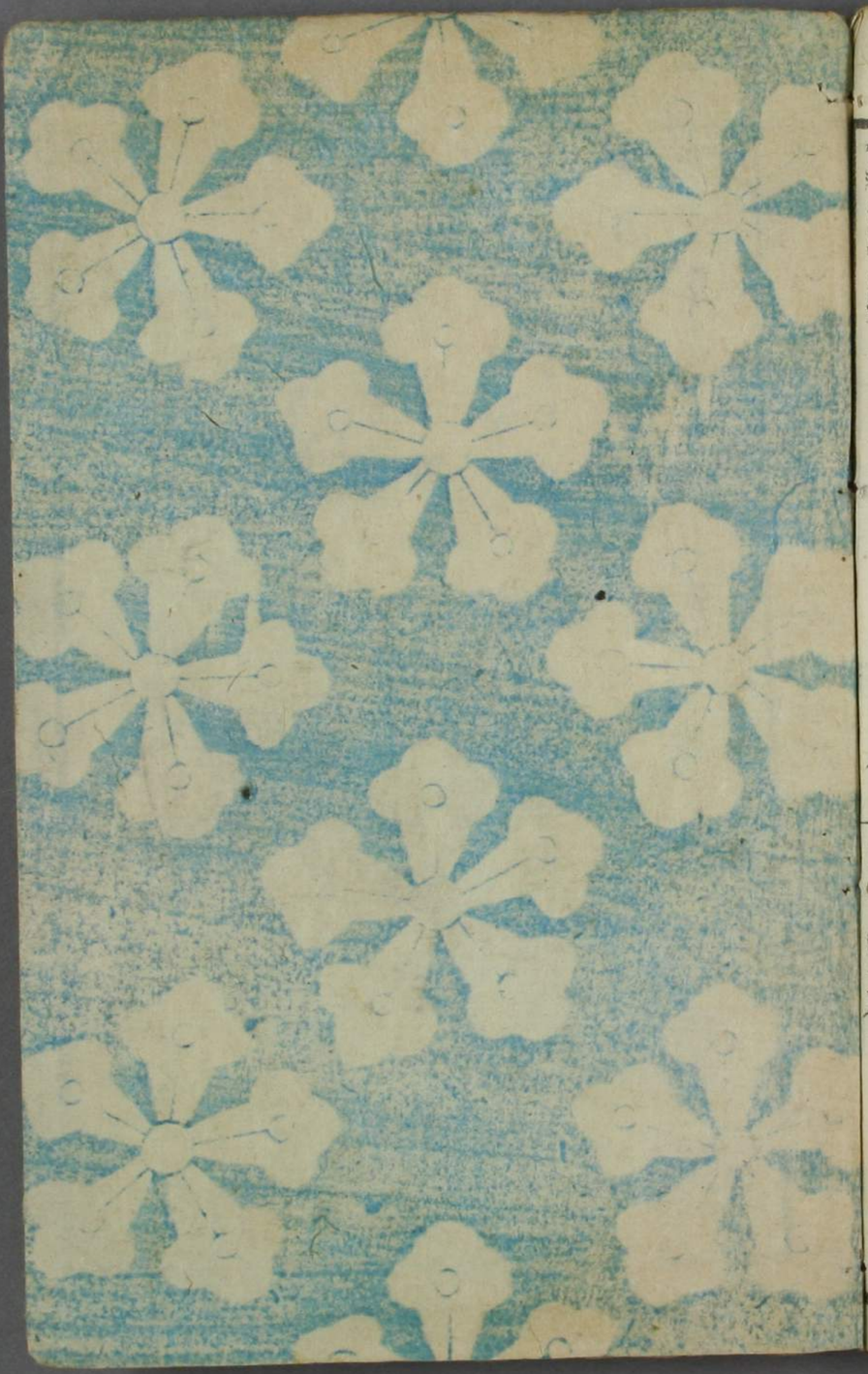
文

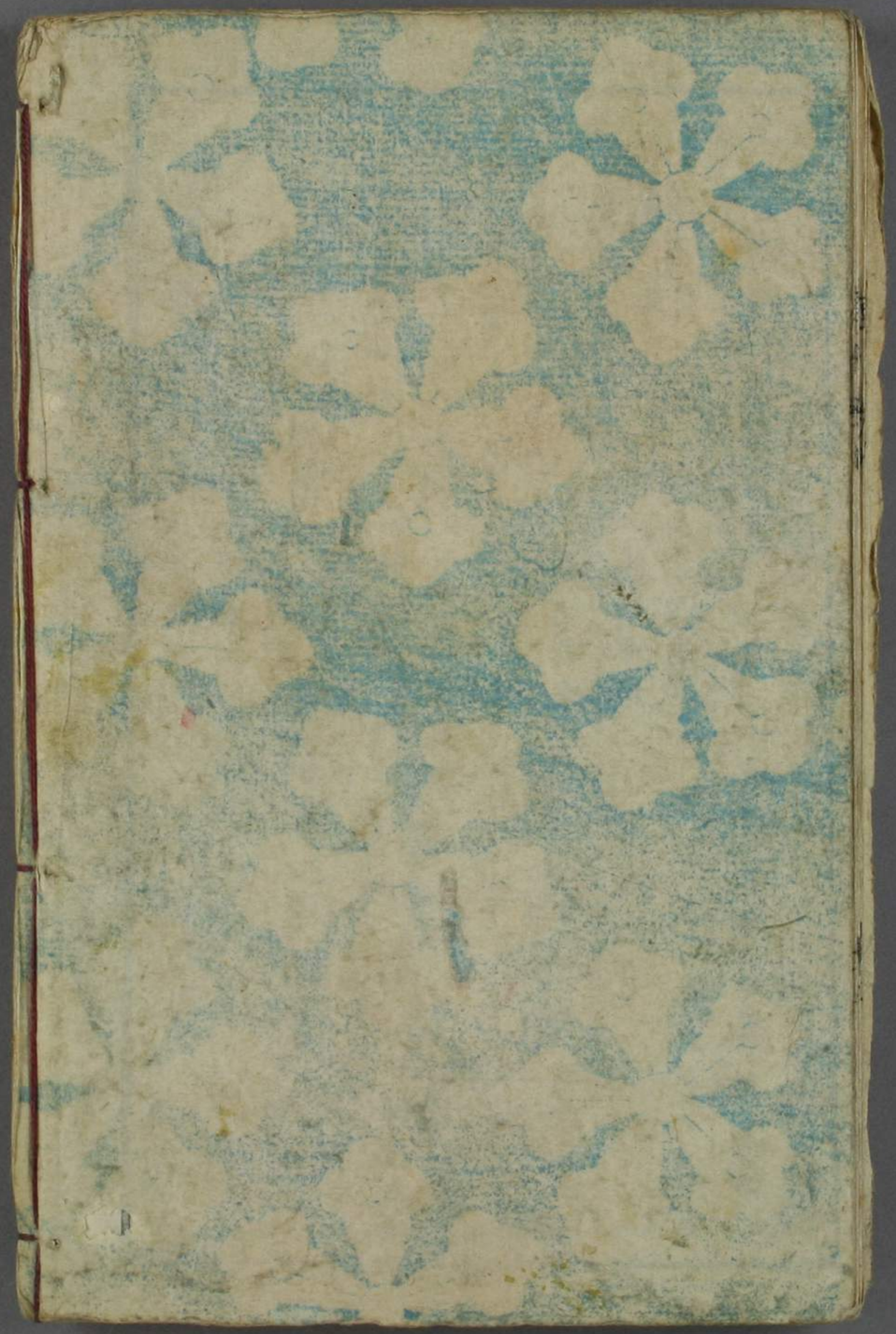
開
千部
月日
諸事

十
百

九

百



朝鮮牛肉九　大包金二朱　中包金一朱　小包銀一匁

瓜爲永春水作　梅蝶樓國貞画